

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2005-022853	
起案日	平成 20 年 10 月 28 日	
特許庁審査官	井上 健一	9373 5200
特許出願人代理人	杉浦 正知 様	
適用条文	第 36 条、第 37 条	

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出してください。

## 理 由

1. この出願は、下記の点で特許法第 37 条に規定する要件を満たしていない。

## 記

請求項 1－4 に記載される発明、請求項 5－7 に記載される発明は、それぞれの解決しようとする課題（本願出願時未解決の課題）が同一でなく、また、それぞれの主要部（解決しようとする課題に対応した新規な事項）が、明らかに相違するから、特許法第 37 条第 1 号及び第 2 号に規定する関係を有すると認められない。さらに、各発明は、特許法第 37 条第 3 号、第 4 号、第 5 号に規定する関係のいずれを満たすものとも認められない。

## ・備考

上記 2 つに区分した発明に共通する、撮像素子に、三原色系および補色系の色（分解）フィルタにより色分離した光を入力する構成は、例えば、特開 2000-315784 号公報に記載されている。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

## 記

各請求項の記載では、特許を受けようとする発明を特定するために必要と認める事項が明確に記載されていないために、各請求項に記載された事項に基づいて特許を受けようとする発明が不明確である。

## ・備考

・特許請求の範囲に記載の用語が統一されていない。例えば、「色分解フィルタ」と「（色）フィルタ」等。

・請求項5には、「撮像素子」が「5色の色フィルタによって構成され」る旨の記載があるが、請求項1では、「色分解フィルタ」と「撮像素子」とは別の構成として記載されており、記載内容が技術的に整合していない。

-----

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野      I P C   H 0 4 N   9 / 0 4 - 9 / 1 1
- ・先行技術文献      特開 2 0 0 1 - 3 5 9 1 1 4 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

部長／代理	審査長／代理	審査官	審査官補
	山下 剛史	井上 健一	
	8 9 4 6	9 3 7 3	

-----